

第34回国際がん登録学会学術集会に参加して



目で見ると
海外論文発表

歌田 真依*

Report from 34th International Association of
Cancer Registries Conference

Key Words : IACR, Population-based Cancer Registry,
Multiple Primary Cancer, Prognosis

<参加会議名> 34th International Association of
Cancer Registries Conference 2012

<開催場所> Cork, Ireland

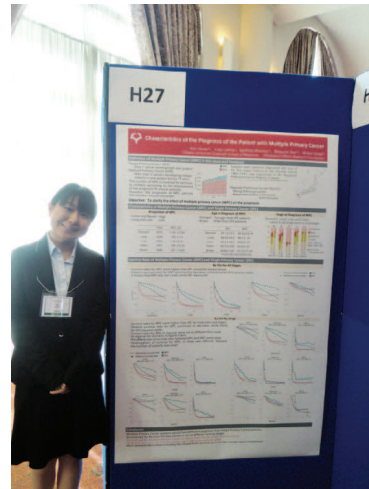
<渡航期間> 9月15～21日

<発表タイトル> Characteristics of the Prognosis
of the Patient with Multiple Primary Cancer

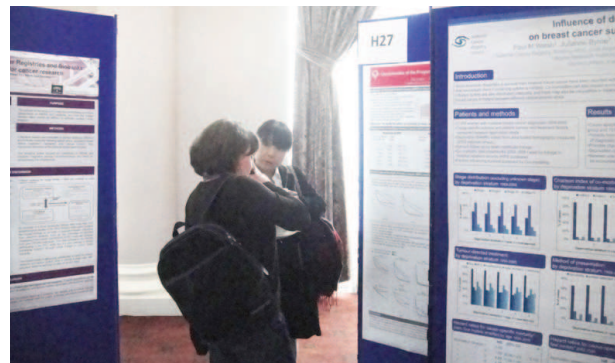
この度、海外論文発表奨励賞をいただき、アイルランドのコークで開催されたIACR2012に参加致しました。IACR(International Association of Cancer Registry)は最大規模の国際がん登録学会で、多くの国のがん登録実務者および研究者と意見交換することができる貴重な機会でした。

私は多重がん(転移ではなく2つ以上のがんに罹患する)患者の予後についてポスター発表を行いました。他国のがん登録でも多重がんの登録が難しいというご意見や、後発がん(後から発症したがん)罹患からの予後のみてはどうかなどのご提案をいただき、今後の研究の示唆を得ました。他にも多重がんについての発表があり、遠く離れた国で同じテーマに興味を持っている研究者の存在を身近に感じ、大変励みになりました。

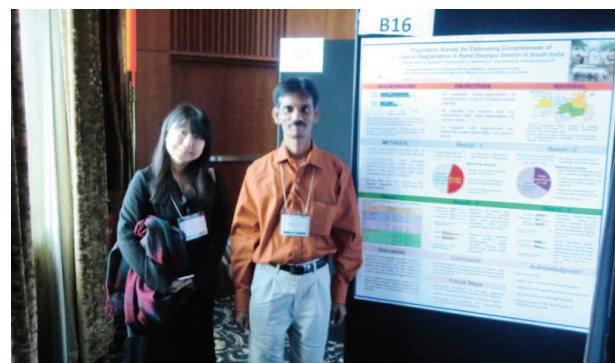
がんは日本だけでなく国際的にも克服すべき大きな課題です。今回学んだことを活かし、今後さらに精進して参りたいと思います。



ポスター展示



質疑応答



研究者交流



*Mai UTADA

1986年8月生
大阪大学大学院 医学系研究科 保健学
専攻 修士課程(2011年)
現在、大阪大学大学院 医学系研究科
保健学専攻 総合ヘルスプロモーション
講座 数理保健学研究室(大野研究室)
博士後期課程2年 保健学修士 がん
TEL: 06-6879-2526
E-mail: m-utada@sahs.med.osaka-u.ac.jp